

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目		自己 評価	外部 アンケー ト等	総合		
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は1・2年生が85%以上、3年生が90%以上である。	・生徒及び教職員間でスクールポリシーを共有し、行事等をおして大規模校・共学校としての良さや本校の特長を生徒に伝えとともに主体的な取り組みによりエージェンシーを高める。					
		②部活動や特別活動に主体的に取り組み、充実感を持っている生徒が75%以上である。	・部活動や特別活動を通して、人間力が向上できるように主体的な活動を促していく。					
		③SSHを含む探究の活動について、成果があがっていると評価する教員が75%以上である。また、充実感を持って取り組んでいる生徒が75%以上である。	・同学年の職員のみならず異学年・同領域の職員間で共有・相談できる場を設定し、生徒の活動を支援する体制を整える。またデータベース化した資料を活用し、生徒の探究活動を支援するとともに、発表会やSSHの諸行事の目的や様子、成果を校内外へ発信し、探究・SSHの取組の意義や有用性を周知する。					
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか	④授業を工夫するなどして、生徒の実態に応じた指導を行っている教員が90%以上である。	・授業研修（年2回以上）により、指導力及び生徒理解力の向上を図る。 ・模試結果等の分析を通して、生徒の客観的な実態把握に努める。					
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤教科学力が向上したと感じる生徒が70%以上である。	・客観的に自己の学力の伸長をはかるため、模擬試験実施前に中期的な目標を立てさせ、模擬試験(偏差値・得点率・全国順位)などの伸びを把握させる。 ・難関大合格プロジェクト(仮称)をスタートさせ、上位者の成就感や達成感を高める工夫をする。					
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥学級担任による個人面談を、年3回以上実施している。	・生徒理解を深めるため、定期的面談週間だけでなく、必要に応じて個人面談を実施する。					
		⑦生徒に対して、挨拶、服装、交通マナー等についての指導を月1回以上行う。	・規範意識の向上を図るため登校時指導やマナーアップ運動、日常生活の中で適宜指導していく。					
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑧本校は「いじめ防止活動」に取り組んでいると評価している生徒が、80%以上である。	・いじめ防止活動を計画に基づいて生徒会を中心に実施し、学校行事やあいさつ運動等の中で呼びかけていく。さらにいろいろな機会を捉えて啓発を促していく。					
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨1日あたりの欠席、遅刻、早退の合計人数は全生徒数の3%以内である。 ⑩ルールを守り、規則正しい生活を送っていると自己評価している生徒が80%以上である。	・長期欠席等を引き起こさないよう、教育相談体制の充実に取り組んでいく。外部機関との連携も考えて行く。 ・規範や健康意識への向上を図るため、生徒会からの呼びかけや集会等での注意喚起を行う。					
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑪キャリア教育や進路学習会等において、進路意識が高まったと評価している生徒が85%以上である。 ⑫進路ニュース・進路だより等で、必要な情報が得られていると評価している生徒が、85%以上である。	・学年集会・進路学習会を行う際、何を意図するか目的を明確にし、生徒や保護者が必要とする情報を適切に公開するよう努める。 ・進路ニュース・進路の手引きの内容を精査し、変化する大学入試の情報も加味し生徒・保護者が必要な情報を提供する。進路だよりを学期1回以上発行し、生徒の進路に関する意欲を高め、進路行事に主体的に取り組ませる。					
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑬自己の生き方と職業との関連を意識し、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	・職業研究・大学研究を自主的に進められるような環境を整備する。低学年のうちから進路指導部主導の進路学習を組織的に進め、本校の進路指導のスタイルを確立する。					
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑭Webページによる魅力的な情報発信に努め、トピックの追加や更新をタイムリーに行う。	・内容の充実と更新頻度の向上のため、行事を主催した分掌と記事の分担の見直し、円滑な運営に向けた体制づくりを行う。					
		⑮在校生保護者及び中学生を対象とした学校公開等を年10回以上実施している。	・文化祭、授業公開、探究発表会公開、中学生対象学校説明会・部活動公開などをおして本校の魅力を発信し続ける。					
		⑯PTA総会、各学年保護者会などの参加率は、全生徒数の50%以上である。配信されるPTA新聞の「見ました」の割合が全生徒数の80%以上である。	・保護者向け行事の情報の発信については、保護者の周知度を高めるため、遅くとも一ヶ月前に連絡をする。配信版のPTA新聞にては、学校行事の様子がわかる写真を盛り込み迅速な配信を心がける。					
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑰教育プラットフォーム(ClassiやG Workspace)等を用いた課題指示又は配信を実施している教員が90%以上である。	・入学時や年度初めのオリエンテーション等において、ICTの効果的活用に向けた生徒への指導を適切に行うとともに、職員へのICT活用を通した授業改善について情報提供を行っていく。					
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑱会議で配付される紙媒体資料は必要最小限であると認識している教員が95%以上である。	・教務部と情報部とで連携し、事前に会議資料をデータでまとめ、全職員が安全に閲覧できる環境を整える。あわせて、情報部担当職員の負担軽減のための方策を立てる。					